

日商産一発 第43号

平成23年10月31日

商工会議所LOBO（早期景気観測）

――2011年10月調査結果――

LOBO調査 実施商工会議所 御中

日本商工会議所

LOBO調査（2011年10月分）の集計結果の送付について

先般実施いたしました標記調査の集計結果を下記の通りご報告いたします。
実施商工会議所各位におかれましては、本調査結果をヒアリング対象企業へ送付されるほか、会合等での資料として積極的にご活用くださるようお願いいたします。
なお、本調査結果（ブロック別概況部分を除く）につきましては、日商ホームページに掲載しておりますので、併せてご利用ください。
（アドレスは <http://www.jcci.or.jp/lobo/lobo.html> です。）

（本件担当） 産業政策第一部 須田・張替
TEL：03-3283-7839
FAX：03-3213-8716
E-mail:sangyo1@jcci.or.jp

○調査期間：2011年10月17日～21日
○調査対象：全国の415商工会議所が2889企業にヒアリング
（東北については、被災を免れた企業や被害が軽微な企業から回答）

<産業別回収状況>				<ブロック別回収率>	
調査産業	調査対象数	回答数	回収率		
建設	425	214	50.4%	北海道	34.6%
製造	671	329	49.0%	東北	45.4%
卸売	299	148	49.5%	北陸信越	36.7%
小売	767	348	45.4%	関東	48.5%
サービス	727	320	44.0%	東海	52.3%
合計	2889	1359	47.0%	近畿	44.8%
				中国	50.8%
				四国	69.4%
				九州	48.6%

○調査項目：今月の売上・採算・業況等についての状況（DI値を集計）

※ DI値（景況判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

DI = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)
業況・採算：(好転) - (悪化) 売上：(増加) - (減少)

――【2011年10月調査結果のポイント】――

業況DIは、マイナス幅が大幅縮小。震災からの回復基調が続く

10月の全産業合計の業況DIは、▲34.3（前月比+5.3ポイント）と、今年7月以来の前月比+5ポイント以上の改善。復興需要が牽引役となり、震災からの回復基調が続いている。
先行きについては、先行き見通しDIが▲30.8と、今月から+3.5ポイント改善する見通し。第三次補正予算の執行に伴う復興需要の本格化や、冬物商品の売上増への期待が出ている。しかし、超円高を背景とした、取引先による生産・販売拠点の海外移転や部材の海外調達に加速に加え、タイの洪水被害拡大に伴う生産への影響など、製造業を中心に先行きを懸念する声も多い。

産業別にみると、業況DIのマイナス幅は、卸売業はマイナス幅が拡大したものの、他の4業種は縮小した。

○各業種から寄せられた特徴的なコメントは以下のとおり。

【建設業】「復興需要に加え、政策効果により省エネ住宅の建設が進んでおり、売上は増加傾向」（建築工事業）、「復旧・復興の財源確保のために国が行っていた公共事業費5%分の留保が解除されたことから、今後公共工事の発注が増えることを期待」（一般工事業）、「塩化ビニール管材の仕入価格が15%値上がりし、採算が悪化」（管工事業）

【製造業】「取引先の増産により受注は増えているが、現在の円高水準が続くと、取引先が生産計画を下方修正するのではないかと心配」（自動車部品製造業）、「今年1月から上昇を続けてきた原材料価格が今月に入り低下し、採算が改善」（プラスチック製品製造業）、「タイにおける洪水の影響で、取引先の生産が激減。取引先の今後の生産方針によっては自社の受注に大きな影響が及ぶ見通し」（電子部品包装材製造）

【卸売業】「円高の影響で、取引先が生産拠点の海外移転と原材料の現地調達を進めており、経営が厳しい」（繊維品卸売業）、「茶葉の風評被害が収束する見通しが立たない。ここにきて仕入先の倒産・廃業も増えており、厳しい状況」（茶類卸売業）、「円高還元セールを実施している取引先から15%の値引き要請をされた」（服飾付属品卸売業）

【小売業】「気温の低下に伴い、衣料品・こたつや寝具等、冬物商品の売上が好調」（総合スーパー）、「震災で落ち込んだ消費マインドが着実に回復。高額品の売上が伸びている」（百貨店）、「石油ストーブ等の冬物商品を発注しても、品薄状態のため確保が困難な状況」（日用品小売業）

【サービス業】「ビジネス客が例年より多く、徐々に宿泊客数に回復の兆しが見られる」（旅館）、「円高の影響で取引先の輸出が減少し、輸送量が落ち込んでいる」（運送業）、「タイでの洪水により、自動車部品の現地生産および輸入ができるかどうか見通しが立たず、今後の影響を懸念」（自動車整備業）

ブロック・産業別業況DI（前年同月比：2011年10月）

	全業種	建設	製造	卸売	小売	サービス
全国	▲ 34.3	▲ 30.7	▲ 26.2	▲ 38.8	▲ 37.6	▲ 39.4
北海道	▲ 31.1	▲ 28.6	▲ 53.8	▲ 50.0	▲ 23.8	▲ 20.0
東北	▲ 18.5	21.1	▲ 25.9	▲ 30.0	▲ 11.5	▲ 42.3
北陸信越	▲ 30.2	▲ 31.8	▲ 3.6	▲ 80.0	▲ 31.3	▲ 37.5
関東	▲ 32.8	▲ 27.0	▲ 23.2	▲ 21.4	▲ 43.0	▲ 42.3
東海	▲ 28.3	▲ 16.7	▲ 21.9	▲ 60.0	▲ 30.0	▲ 25.0
近畿	▲ 43.6	▲ 50.0	▲ 39.1	▲ 35.3	▲ 49.0	▲ 42.5
中国	▲ 48.0	▲ 33.3	▲ 26.7	▲ 58.3	▲ 66.7	▲ 56.3
四国	▲ 31.5	▲ 55.0	▲ 17.2	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 30.8
九州	▲ 42.5	▲ 54.2	▲ 39.3	▲ 38.5	▲ 32.4	▲ 50.0

ブロック・産業別業況DI（先行き見通し：2011年11月～2012年1月）
上段：2011年10月時点
下段：2010年10月時点

	全業種	建設	製造	卸売	小売	サービス
全国	▲ 30.8	▲ 35.5	▲ 26.8	▲ 32.4	▲ 30.1	▲ 31.9
北海道	▲ 40.6	▲ 50.9	▲ 40.2	▲ 30.8	▲ 40.9	▲ 37.8
東北	▲ 27.0	▲ 42.9	▲ 30.8	▲ 16.7	▲ 23.8	▲ 20.0
北陸信越	▲ 32.9	▲ 50.0	▲ 53.8	▲ 37.5	▲ 29.2	▲ 15.4
関東	▲ 23.1	5.3	▲ 33.3	▲ 20.0	▲ 11.5	▲ 46.2
東海	▲ 42.5	▲ 52.6	▲ 40.7	▲ 45.5	▲ 33.3	▲ 46.2
近畿	▲ 33.0	▲ 54.5	▲ 10.7	▲ 50.0	▲ 28.1	▲ 39.1
中国	▲ 37.2	▲ 45.8	▲ 37.1	▲ 18.2	▲ 43.6	▲ 30.8
四国	▲ 29.7	▲ 25.4	▲ 27.4	▲ 26.8	▲ 31.2	▲ 34.6
九州	▲ 40.4	▲ 59.0	▲ 40.0	▲ 28.9	▲ 38.2	▲ 34.9
	▲ 21.3	▲ 22.2	▲ 21.9	▲ 40.0	▲ 30.0	▲ 3.1
	▲ 39.6	▲ 35.0	▲ 36.8	▲ 38.5	▲ 51.5	▲ 33.3
	▲ 37.2	▲ 45.0	▲ 41.3	▲ 35.3	▲ 24.5	▲ 45.0
	▲ 40.2	▲ 36.4	▲ 47.9	▲ 36.8	▲ 29.8	▲ 47.9
	▲ 38.4	▲ 41.7	▲ 23.3	▲ 53.8	▲ 51.7	▲ 26.7
	▲ 50.0	▲ 66.7	▲ 44.8	▲ 9.1	▲ 69.6	▲ 50.0
	▲ 27.9	▲ 50.0	▲ 13.8	▲ 37.5	▲ 28.6	▲ 23.1
	▲ 32.5	▲ 47.6	▲ 13.8	▲ 27.3	▲ 33.3	▲ 40.6
	▲ 38.6	▲ 60.9	▲ 32.1	▲ 23.1	▲ 37.8	▲ 35.5
	▲ 49.7	▲ 58.3	▲ 48.6	▲ 36.4	▲ 52.2	▲ 45.5

※「先行き見通し」は当月に比した向こう3カ月の先行き見通しDI（以下同じ）

【業況についての判断】

○10月の景況をみると、全産業合計の業況DI（前年同月比ベース、以下同じ）は▲34.3（前月比+5.3ポイント）となり、マイナス幅は2カ月ぶりに縮小。今年7月以来の前月比+5ポイント以上の改善となった。産業別にみると、卸売業は、超円高や原材料価格の高止まり等により経営環境が厳しい取引先からの値下げ要求があり、業況の低迷が続いている。一方、他の4業種はマイナス幅が縮小した。
 ○向こう3カ月（11～1月）の先行き見通しについては、全産業合計の業況DI（今月比ベース）は▲30.8と、今月から+3.5ポイントの改善を見込んでいる。
 ○産業別に先行き見通しをみると、今月と比べ、建設業はマイナス幅が拡大、製造業はほぼ横ばいとなるものの、他の3業種は縮小する見込み。

【売上（受注・出荷）についての判断】

○売上面では、全産業合計の売上DIは▲27.5（前月比+7.5ポイント）と、3カ月ぶりにマイナス幅が縮小。産業別にみても、復興需要や自動車の増産に加え、冬の節電対策として、冬物商品の動きが堅調であること、自粛の反動から高額品の売上が上向いていることから、全ての業種でマイナス幅が縮小した。
 ○向こう3カ月（11～1月）の先行き見通しについては、全産業合計の売上DI（今月比ベース）は▲22.0と、今月から+5.5ポイントの改善を見込んでいる。
 ○産業別に先行き見通しをみると、製造業はほぼ横ばいとなるものの、他の4業種はマイナス幅が縮小する見込み。

業況DI（前年同月比）の推移

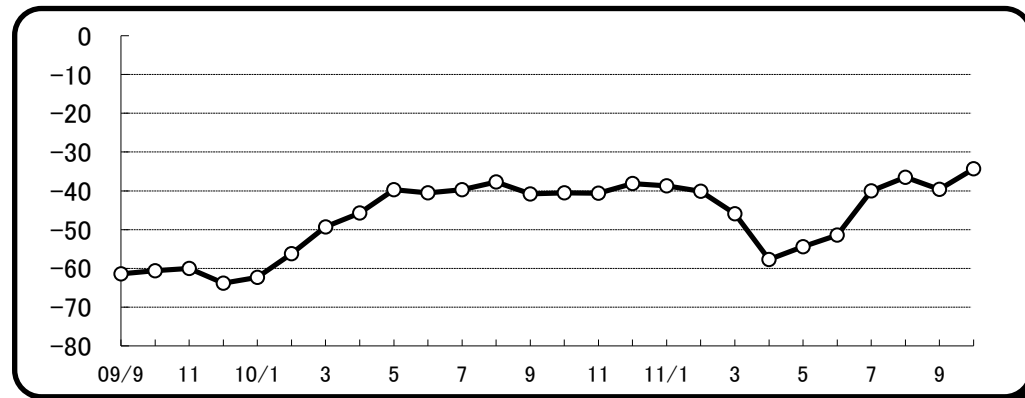
	11年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 11～1月
全産業	▲54.4	▲51.4	▲40.0	▲36.5	▲39.6	▲34.3	▲30.8
建設	▲56.1	▲52.7	▲45.8	▲48.4	▲38.2	▲30.7	▲35.5
製造	▲48.6	▲40.3	▲32.9	▲28.1	▲33.5	▲26.2	▲26.8
卸売	▲59.1	▲59.8	▲47.3	▲35.4	▲34.7	▲38.8	▲32.4
小売	▲54.8	▲51.0	▲35.1	▲38.9	▲45.8	▲37.6	▲30.1
サービス	▲57.2	▲59.9	▲45.9	▲35.5	▲42.8	▲39.4	▲31.9

売上（受注・出荷）DI（前年同月比）の推移

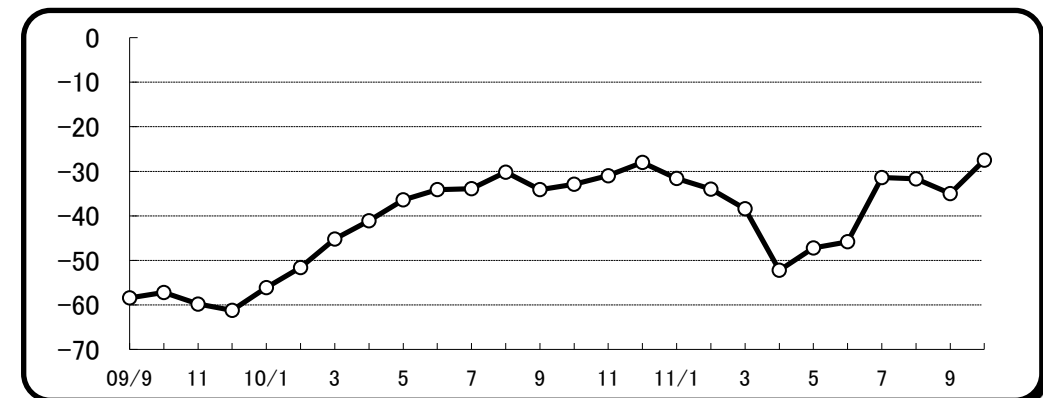
	11年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 11～1月
全産業	▲47.2	▲45.8	▲31.4	▲31.7	▲35.0	▲27.5	▲22.0
建設	▲44.9	▲50.0	▲37.4	▲38.6	▲36.4	▲26.6	▲22.5
製造	▲38.6	▲29.7	▲21.1	▲20.5	▲23.0	▲13.7	▲14.0
卸売	▲54.5	▲53.5	▲43.8	▲37.3	▲32.7	▲29.7	▲25.7
小売	▲48.5	▲49.0	▲27.7	▲39.4	▲44.6	▲32.0	▲21.4
サービス	▲53.5	▲53.9	▲37.2	▲28.5	▲37.9	▲36.3	▲28.6

※「先行き見通し」は当月に比べた向こう3カ月の先行き見通しDI

《業況DI（全産業・前年同月比）の推移》



《売上（受注・出荷）DI（全産業・前年同月比）の推移》



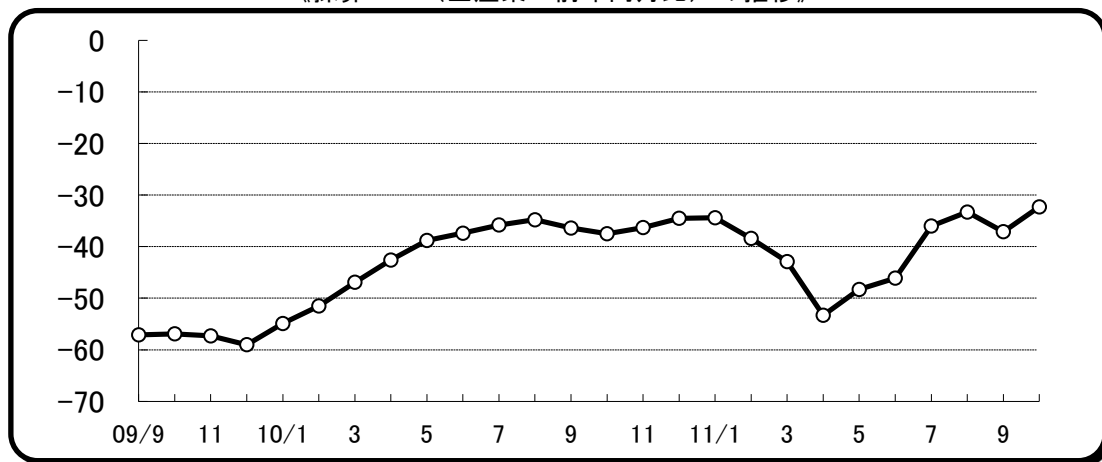
【採算の状況についての判断】

○採算面では、全産業合計の採算DIは▲32.3（前月比+4.8ポイント）と、マイナス幅は2カ月ぶりに縮小。産業別にみても、原材料価格の上昇傾向が一段落し、採算が改善しつつあることから、全ての業種でマイナス幅が縮小した。
 ○向こう3カ月（11～1月）の先行き見通しについては、全産業合計の採算DI（今月比ベース）は▲28.0と、今月から+4.3ポイントの改善を見込んでいる。
 ○産業別に先行き見通しをみると、今月と比べ、建設業はマイナス幅が拡大するものの、他の4業種は縮小する見込み。

採算DI（前年同月比）の推移

	11年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 11～1月
全産業	▲48.3	▲46.1	▲36.0	▲33.3	▲37.1	▲32.3	▲28.0
建設	▲50.7	▲51.2	▲49.3	▲47.1	▲40.1	▲38.2	▲40.1
製造	▲43.4	▲39.7	▲29.0	▲29.3	▲32.9	▲24.9	▲22.9
卸売	▲45.5	▲40.9	▲42.7	▲31.2	▲30.7	▲28.4	▲24.3
小売	▲46.0	▲42.5	▲27.3	▲33.1	▲39.4	▲31.8	▲23.0
サービス	▲55.7	▲56.0	▲41.6	▲29.7	▲40.1	▲38.4	▲32.5

《採算DI（全産業・前年同月比）の推移》



(参考)

資金繰りDI（前年同月比）の推移

	11年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 11～1月
全産業	▲31.5	▲31.2	▲24.9	▲23.0	▲24.4	▲22.2	▲22.5
建設	▲33.7	▲37.9	▲37.2	▲33.2	▲33.7	▲29.0	▲30.9
製造	▲30.0	▲28.7	▲19.7	▲18.2	▲21.4	▲17.6	▲18.3
卸売	▲20.6	▲19.0	▲15.4	▲11.5	▲14.1	▲17.7	▲16.3
小売	▲31.1	▲28.7	▲23.8	▲24.6	▲24.1	▲23.2	▲22.2
サービス	▲37.0	▲37.6	▲27.8	▲25.4	▲26.5	▲23.5	▲24.7

DI = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)

【前年同月比DI】全産業合計の資金繰りDIは▲22.2となり、マイナス幅は2カ月ぶりに縮小。産業別にみると、卸売業はマイナス幅が拡大、小売業はほぼ横ばいだったものの、他の3業種は縮小した。

【先行き見通しDI】全産業合計の先行き見通しをみると、マイナス幅は今月と比べほぼ横ばいとなる見通し。産業別にみると、卸売業、小売業はマイナス幅が縮小、製造業はほぼ横ばい、建設業、サービス業は拡大する見込み。

仕入単価DI（前年同月比）の推移

	11年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 11～1月
全産業	▲35.8	▲34.4	▲33.7	▲29.2	▲30.0	▲27.8	▲24.9
建設	▲57.0	▲42.2	▲45.0	▲31.8	▲35.1	▲34.3	▲33.3
製造	▲40.2	▲44.8	▲40.2	▲38.6	▲40.2	▲35.6	▲28.6
卸売	▲23.1	▲25.2	▲24.4	▲25.9	▲29.5	▲22.3	▲24.3
小売	▲27.7	▲26.0	▲25.9	▲19.3	▲21.0	▲19.8	▲16.9
サービス	▲31.4	▲31.1	▲31.8	▲29.3	▲25.7	▲26.7	▲24.4

DI = (下落の回答割合) - (上昇の回答割合)

【前年同月比DI】全産業合計の仕入単価DIは▲27.8と、原材料価格は前年比では依然高い状況が続いているが、総じて上昇傾向に一服感がみられる。産業別にみると、サービス業はマイナス幅が拡大、建設業はほぼ横ばいだったものの、他の3業種は縮小した。

【先行き見通しDI】全産業合計の先行き見通しをみると、マイナス幅は今月と比べ縮小する見通し。産業別にみると、卸売業はマイナス幅が拡大するものの、他の4業種は縮小する見込み。

従業員DI（前年同月比）の推移

	11年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 11～1月
全産業	▲12.1	▲11.4	▲7.1	▲5.6	▲4.6	▲4.3	▲4.1
建設	▲19.8	▲14.0	▲11.4	▲13.2	▲13.2	▲4.8	▲5.2
製造	▲14.5	▲14.8	▲8.0	▲5.2	▲4.3	▲3.7	▲3.7
卸売	▲14.2	▲18.1	▲17.6	▲11.4	▲8.0	▲8.8	▲8.8
小売	▲3.8	▲5.0	▲0.6	▲1.4	0.0	▲3.5	▲3.2
サービス	▲12.9	▲10.3	▲6.1	▲2.9	▲2.5	▲3.4	▲2.5

DI = (不足の回答割合) - (過剰の回答割合)

【前年同月比DI】全産業合計の従業員DIは▲4.3となり、前月からほぼ横ばいで推移。産業別にみると、建設業は、復興需要などにより過剰感が大幅に弱まった。

【先行き見通しDI】全産業合計の先行き見通しをみると、今月と比べほぼ横ばいで推移する見込み。産業別にみても、全ての業種でほぼ横ばいとなる見通し。

2011年10月

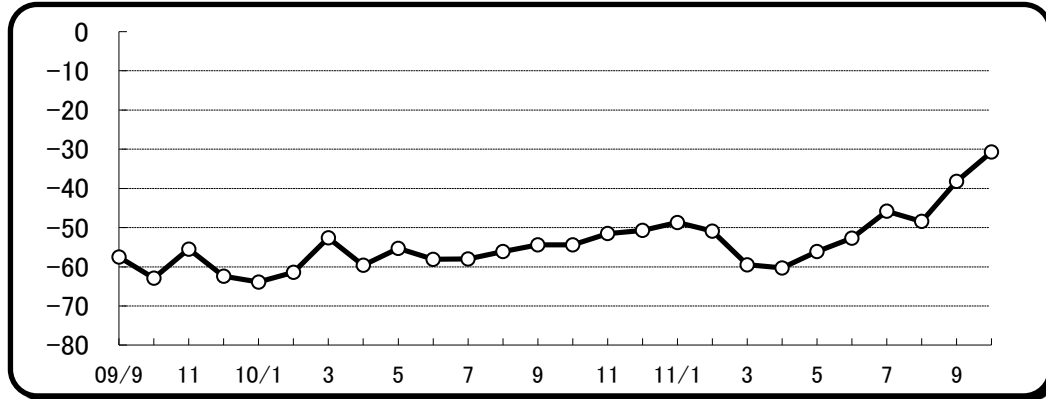
	売上(受注・出荷)		採算		資金繰り		仕入単価		従業員		業況	
	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き
全業種												
全国	-27.5	-22.0	-32.3	-28.0	-22.2	-22.5	-27.8	-24.9	-4.3	-4.1	-34.3	-30.8
北海道	-29.3	-20.0	-28.4	-23.0	-23.6	-20.8	-17.6	-17.6	-5.4	-6.8	-31.1	-27.0
東北	-5.6	-14.8	-18.5	-22.4	-20.6	-29.0	-32.4	-26.9	-0.9	0.9	-18.5	-23.1
北陸信越	-22.4	-28.1	-29.3	-32.5	-20.4	-26.2	-24.6	-21.1	1.7	-0.9	-30.2	-33.0
関東	-25.3	-17.3	-29.9	-26.5	-20.6	-22.1	-29.6	-27.3	-3.2	-3.2	-32.8	-29.7
東海	-19.7	-14.2	-27.6	-22.2	-16.8	-15.2	-19.2	-20.0	1.6	-1.6	-28.3	-21.3
近畿	-37.6	-29.7	-41.5	-29.8	-25.5	-21.2	-28.1	-22.2	-2.3	-0.6	-43.6	-37.2
中国	-48.5	-38.0	-41.6	-32.0	-31.6	-24.5	-22.2	-18.2	-17.0	-13.1	-48.0	-38.4
四国	-28.8	-17.1	-31.5	-26.1	-15.3	-18.9	-29.7	-25.2	-7.2	-8.1	-31.5	-27.9
九州	-32.4	-27.4	-41.9	-37.8	-28.9	-26.7	-37.3	-36.1	-11.0	-8.9	-42.5	-38.6
建設												
全国	-26.6	-22.5	-38.2	-40.1	-29.0	-30.9	-34.3	-33.3	-4.8	-5.2	-30.7	-35.5
北海道	-26.7	-53.3	-28.6	-35.7	-38.5	-38.5	-7.1	-14.3	-14.3	-28.6	-28.6	-42.9
東北	21.1	0.0	-5.3	-21.1	0.0	-10.5	-52.6	-63.2	15.8	5.3	21.1	5.3
北陸信越	-22.7	-45.5	-36.4	-45.5	-21.1	-47.4	-27.3	-36.4	9.1	-4.5	-31.8	-54.5
関東	-23.8	1.6	-33.3	-28.6	-32.3	-32.3	-42.6	-32.8	-3.3	-3.3	-27.0	-25.4
東海	-5.6	-16.7	-44.4	-55.6	-11.1	-5.6	-16.7	-22.2	22.2	16.7	-16.7	-22.2
近畿	-52.4	-35.0	-40.0	-35.0	-35.0	-25.0	-15.0	-20.0	-20.0	-10.0	-50.0	-45.0
中国	-41.7	-25.0	-41.7	-41.7	-16.7	-33.3	-25.0	-16.7	-16.7	-8.3	-33.3	-41.7
四国	-30.0	-25.0	-45.0	-50.0	-35.0	-30.0	-45.0	-35.0	-10.0	-5.0	-55.0	-50.0
九州	-58.3	-54.2	-70.8	-66.7	-54.2	-50.0	-45.8	-45.8	-29.2	-16.7	-54.2	-60.9
製造												
全国	-13.7	-14.0	-24.9	-22.9	-17.6	-18.3	-35.6	-28.6	-3.7	-3.7	-26.2	-26.8
北海道	-46.2	-23.1	-38.5	-38.5	-30.8	-7.7	-46.2	-7.7	-23.1	-7.7	-53.8	-30.8
東北	-3.7	-22.2	-33.3	-33.3	-18.5	-22.2	-40.7	-33.3	-3.7	-3.7	-25.9	-33.3
北陸信越	7.1	0.0	0.0	-10.7	-7.4	-18.5	-35.7	-28.6	7.1	0.0	-3.6	-10.7
関東	-15.8	-12.6	-26.3	-28.4	-19.4	-20.4	-40.0	-29.5	-2.1	0.0	-23.2	-27.4
東海	-9.4	-15.6	-18.8	-12.9	-9.7	-9.7	-28.1	-21.9	9.4	0.0	-21.9	-21.9
近畿	-17.4	-28.3	-34.8	-26.1	-29.5	-29.5	-43.5	-30.4	-6.5	-8.7	-39.1	-41.3
中国	-10.0	-20.0	-23.3	-20.0	-3.3	-6.7	-13.3	-20.0	-6.7	0.0	-26.7	-23.3
四国	-17.2	3.4	-24.1	-10.3	-13.8	-17.2	-24.1	-27.6	-3.4	-3.4	-17.2	-13.8
九州	-20.7	-6.9	-24.1	-20.7	-24.1	-17.2	-41.4	-44.8	-17.2	-17.2	-39.3	-32.1

2011年10月

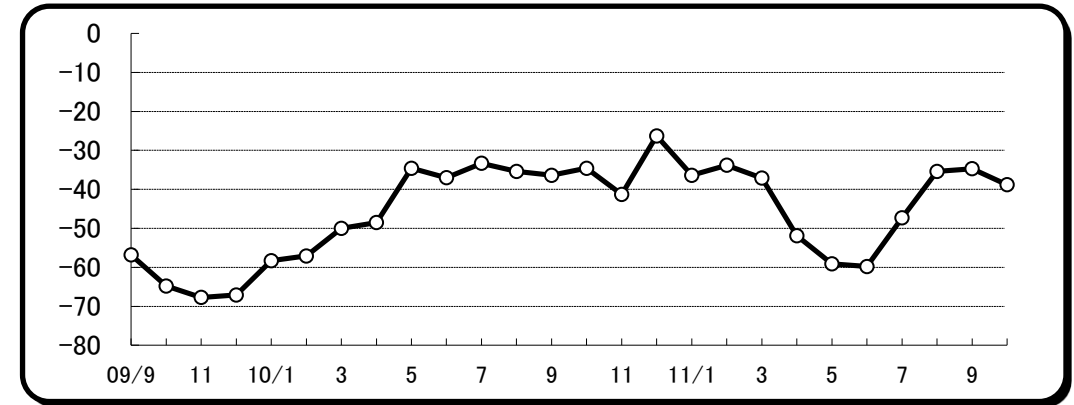
	売上(受注・出荷)		採算		資金繰り		仕入単価		従業員		業況	
	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き
卸売												
全国	-29.7	-25.7	-28.4	-24.3	-17.7	-16.3	-22.3	-24.3	-8.8	-8.8	-38.8	-32.4
北海道	-33.3	-33.3	-33.3	-33.3	0.0	-20.0	-33.3	-33.3	0.0	0.0	-50.0	-16.7
東北	-40.0	-20.0	-30.0	-30.0	-40.0	-50.0	-30.0	-10.0	10.0	10.0	-30.0	-20.0
北陸信越	-60.0	-40.0	-50.0	-40.0	-30.0	-10.0	-10.0	0.0	-10.0	0.0	-80.0	-50.0
関東	-12.5	-26.8	-12.5	-17.9	-8.9	-14.3	-26.8	-33.9	-5.4	-7.1	-21.4	-26.8
東海	-40.0	-26.7	-60.0	-53.3	-40.0	-26.7	-6.7	-26.7	-33.3	-33.3	-60.0	-40.0
近畿	-29.4	-17.6	-41.2	-17.6	-5.9	-5.9	-11.8	-23.5	5.9	5.9	-35.3	-35.3
中国	-46.2	-53.8	-23.1	-30.8	-46.2	-23.1	7.7	-15.4	-16.7	-23.1	-58.3	-53.8
四国	-37.5	0.0	-50.0	-12.5	-12.5	-12.5	-37.5	0.0	-12.5	-25.0	-50.0	-37.5
九州	-38.5	-7.7	-15.4	-7.7	0.0	0.0	-53.8	-30.8	-23.1	-7.7	-38.5	-23.1
小売												
全国	-32.0	-21.4	-31.8	-23.0	-23.2	-22.2	-19.8	-16.9	-3.5	-3.2	-37.6	-30.1
北海道	-23.8	-4.8	-14.3	-4.8	-14.3	-9.5	-14.3	-14.3	-4.8	-9.5	-23.8	-23.8
東北	11.5	7.7	0.0	0.0	-20.0	-24.0	-23.1	-11.5	-3.8	3.8	-11.5	-11.5
北陸信越	-28.1	-29.0	-28.1	-32.3	-20.7	-24.1	-12.5	-9.4	0.0	0.0	-31.3	-28.1
関東	-30.1	-15.1	-32.3	-20.4	-18.9	-20.0	-14.0	-18.3	3.3	1.1	-43.0	-31.2
東海	-16.7	-13.3	-26.7	-13.3	-17.2	-20.7	-26.7	-16.7	-6.7	-3.3	-30.0	-30.0
近畿	-51.0	-24.5	-50.0	-27.1	-28.3	-15.2	-20.8	-16.7	-4.1	0.0	-49.0	-24.5
中国	-76.7	-44.8	-50.0	-27.6	-44.4	-32.1	-17.9	-3.6	-26.7	-20.7	-66.7	-51.7
四国	-42.9	-46.4	-28.6	-35.7	-17.9	-28.6	-35.7	-32.1	-7.1	-10.7	-25.0	-28.6
九州	-18.4	-26.3	-34.2	-36.8	-29.7	-28.9	-23.7	-23.7	2.6	-2.6	-32.4	-37.8
サービス												
全国	-36.3	-28.6	-38.4	-32.5	-23.5	-24.7	-26.7	-24.4	-3.4	-2.5	-39.4	-31.9
北海道	-25.0	-5.0	-35.0	-20.0	-25.0	-30.0	-5.0	-25.0	10.0	10.0	-20.0	-20.0
東北	-30.8	-38.5	-26.9	-32.0	-30.8	-46.2	-19.2	-15.4	-11.5	-3.8	-42.3	-46.2
北陸信越	-33.3	-39.1	-50.0	-43.5	-30.4	-27.3	-31.8	-22.7	-4.2	0.0	-37.5	-39.1
関東	-37.5	-29.8	-38.5	-33.7	-22.5	-23.5	-27.7	-26.5	-8.7	-7.7	-42.3	-34.6
東海	-31.3	-6.3	-12.5	-6.3	-15.6	-15.6	-10.0	-16.7	6.3	3.1	-25.0	-3.1
近畿	-40.0	-40.0	-40.0	-40.0	-21.1	-23.7	-32.5	-20.0	10.0	10.0	-42.5	-45.0
中国	-75.0	-56.3	-75.0	-56.3	-62.5	-40.0	-68.8	-43.8	-18.8	-20.0	-56.3	-26.7
四国	-23.1	-7.7	-26.9	-19.2	0.0	-3.8	-15.4	-15.4	-7.7	-7.7	-30.8	-23.1
九州	-37.5	-35.5	-56.3	-45.2	-25.0	-25.8	-36.7	-37.9	-3.1	-3.2	-50.0	-35.5

業況D I（前年同月比）の推移（全国）

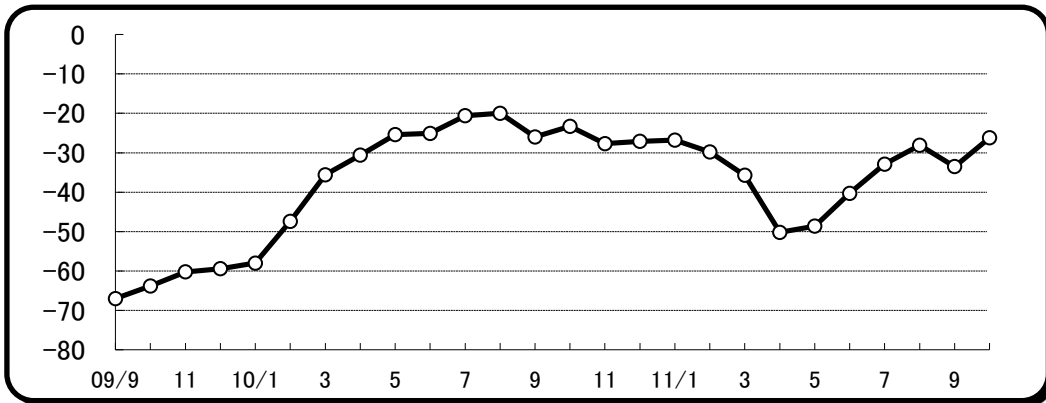
建設業



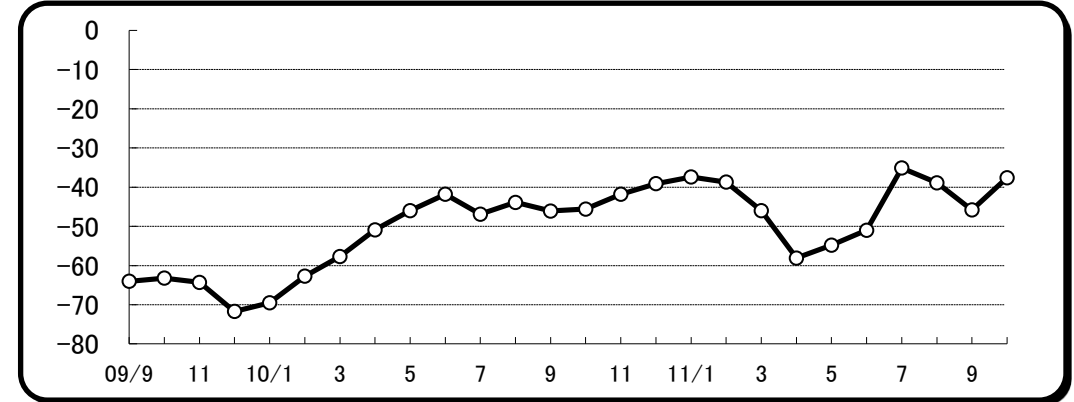
卸売業



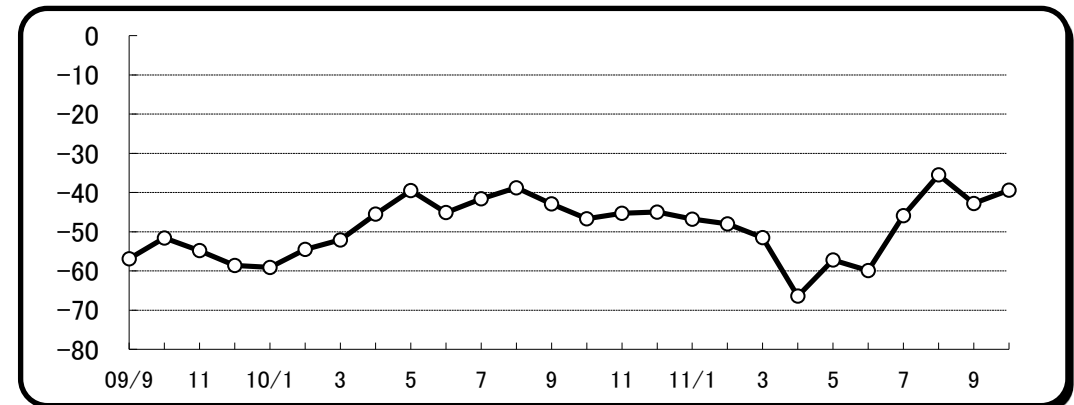
製造業



小売業



サービス業



【ブロック別概況・北海道】

○全産業の業況DIは、マイナス幅が2カ月ぶりに縮小。産業別では、卸売はマイナス幅が拡大、製造業はほぼ横ばいだったものの、他の3業種は縮小した。
 ○水産食料品製造業からは、「国内・海外とも加工原料となる水産物の仕入価格が上昇。上昇分を販売価格に転嫁できず、採算が悪化」との声、建設・建築用金属製品製造業からは、「漁船建造や鋼橋建築に関する受注を獲得でき、業況の先行きに多少の明るさがみられる」とのコメント。総合スーパーからは、「消費者が食品の放射能汚染を不安視しており、年末商戦に悪影響が出ないか心配」とのコメント。旅館からは、「震災後、外国人観光客の宿泊数が前年の半分程度で推移。中国の国慶節に期待するも、来客は伸び悩み、業況は厳しい」とのコメントが寄せられた。
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月からマイナス幅が縮小する見込み。産業別にみると、建設はマイナス幅が拡大、小売、サービスは横ばいとなるものの、他の2業種は縮小する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	11年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 11～1月
業況	▲ 47.3	▲ 52.1	▲ 33.3	▲ 30.6	▲ 37.7	▲ 31.1	▲ 27.0
売上	▲ 48.0	▲ 52.8	▲ 24.2	▲ 23.0	▲ 32.9	▲ 29.3	▲ 20.0
採算	▲ 41.9	▲ 42.3	▲ 28.8	▲ 22.2	▲ 36.2	▲ 28.4	▲ 23.0
資金繰り	▲ 24.3	▲ 26.8	▲ 12.3	▲ 12.7	▲ 21.7	▲ 23.6	▲ 20.8
仕入単価	▲ 28.4	▲ 28.2	▲ 30.3	▲ 16.7	▲ 23.2	▲ 17.6	▲ 17.6
従業員	▲ 17.6	▲ 14.1	▲ 10.6	▲ 2.8	▲ 13.0	▲ 5.4	▲ 6.8

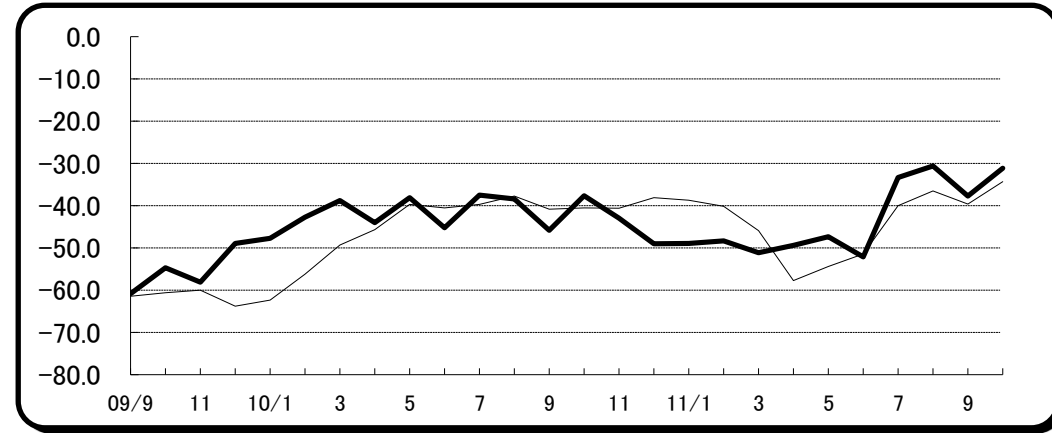
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	11年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 11～1月
建設	▲ 66.7	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 36.4	▲ 53.8	▲ 28.6	▲ 42.9
製造	▲ 63.6	▲ 54.5	▲ 36.4	▲ 50.0	▲ 54.5	▲ 53.8	▲ 30.8
卸売	▲ 42.9	▲ 62.5	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 14.3	▲ 50.0	▲ 16.7
小売	▲ 30.0	▲ 55.6	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 42.1	▲ 23.8	▲ 23.8
サービス	▲ 45.8	▲ 45.5	▲ 36.8	▲ 13.6	▲ 21.1	▲ 20.0	▲ 20.0

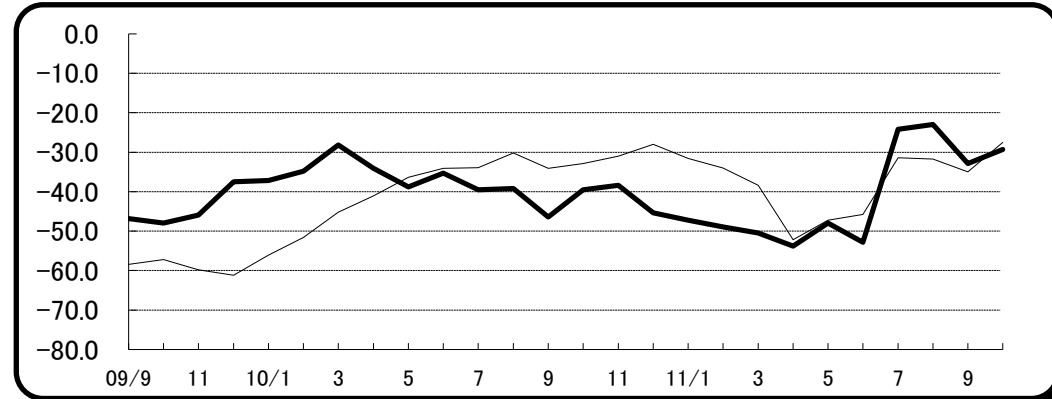
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（北海道）

—— 北海道 —— 全国

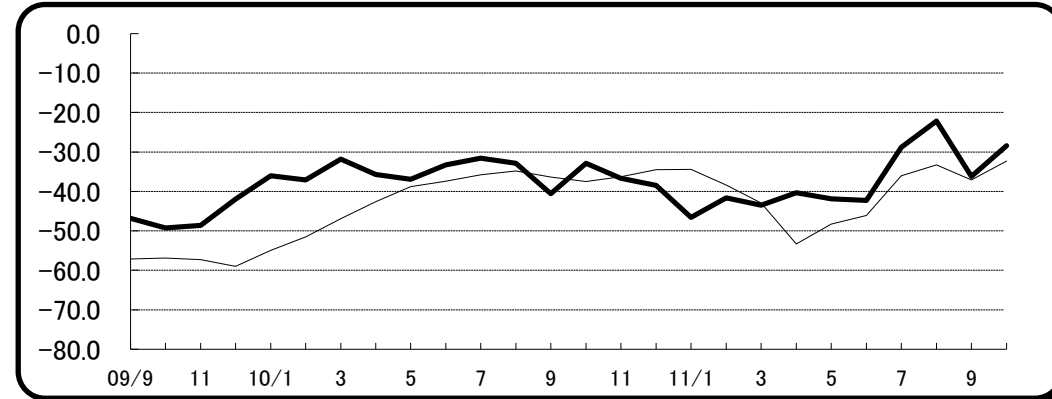
業況



売上



採算



【ブロック別概況・東北】

○全産業の業況D Iは、マイナス幅が2カ月ぶりに縮小。産業別にみると、卸売は業況が大幅な悪化、建設は若干の悪化となったものの、他の3業種は改善した。
 ○水産食料品製造業からは、「地盤沈下の影響で、被災した工場の改修工事が遅れており、人員を増やせる状況にない」との声、鉄素形材製造業からは、「中国において南部鉄瓶の需要が旺盛。受注量が前年比3倍と非常に売れている」とのコメント。総合スーパーからは、「毛布や靴下など、電気を使わなくても暖を取れる商品の売上が好調」とのコメント。旅館からは、「原発事故の影響で、子連れを中心に家族客が非常に少ない」とのコメントが寄せられた。
 ○業況の先行き見通しD Iは、全産業では今月からマイナス幅が拡大する見込み。産業別にみると、卸売は業況が改善、小売業は横ばいとなるものの、他の3業種は悪化する見込み。

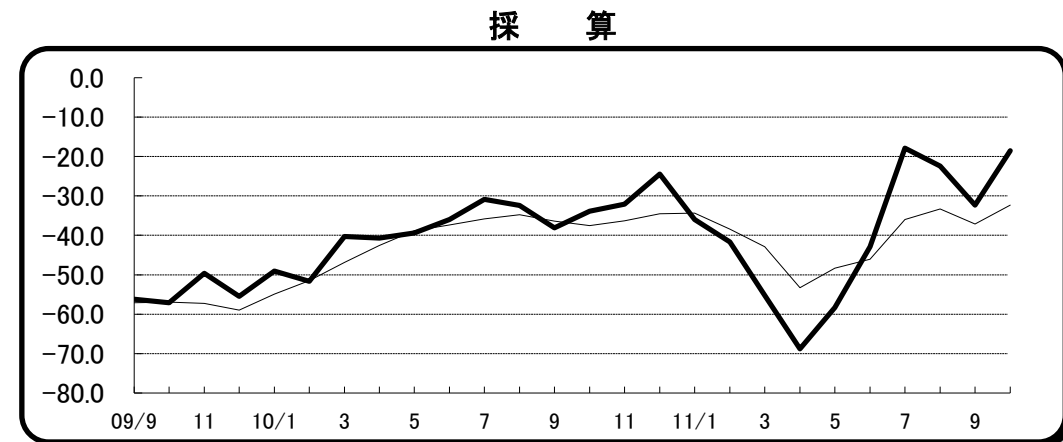
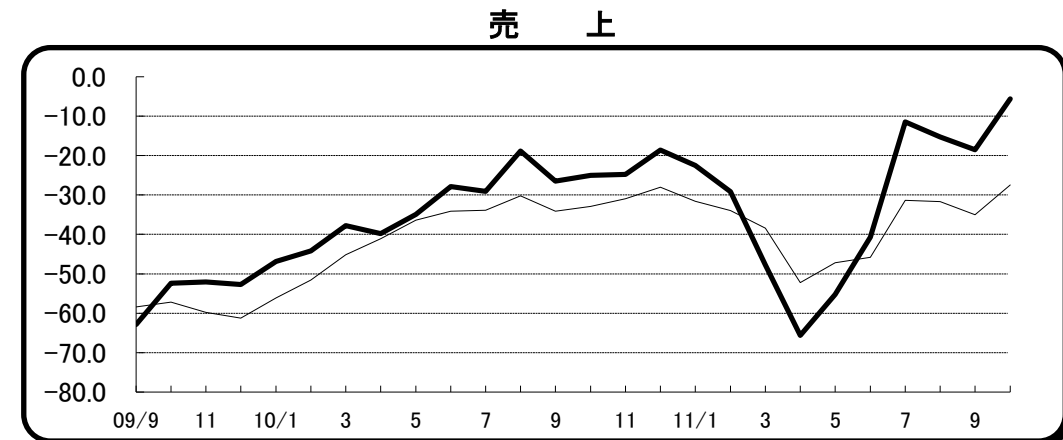
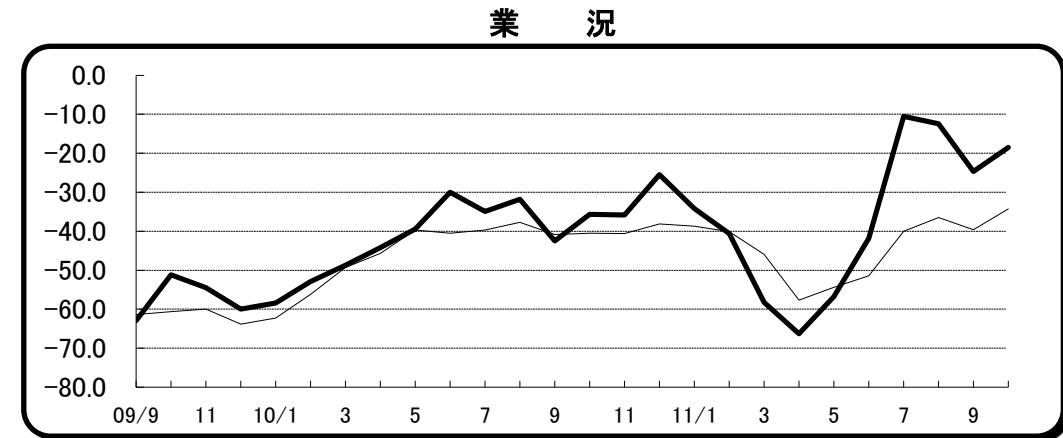
全産業D I（前年同月比）の推移

	11年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 11~1月
業況	▲ 56.8	▲ 41.8	▲ 10.5	▲ 12.4	▲ 24.7	▲ 18.5	▲ 23.1
売上	▲ 55.2	▲ 40.7	▲ 11.5	▲ 15.3	▲ 18.5	▲ 5.6	▲ 14.8
採算	▲ 58.3	▲ 42.9	▲ 17.9	▲ 22.4	▲ 32.3	▲ 18.5	▲ 22.4
資金繰り	▲ 41.3	▲ 33.3	▲ 9.7	▲ 7.4	▲ 18.7	▲ 20.6	▲ 29.0
仕入単価	▲ 33.3	▲ 27.5	▲ 42.1	▲ 41.8	▲ 34.4	▲ 32.4	▲ 26.9
従業員	▲ 11.5	▲ 12.1	▲ 1.0	5.1	0.0	▲ 0.9	0.9

産業別業況D I（前年同月比）の推移

	11年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 11~1月
建設	▲ 17.6	▲ 29.4	▲ 5.6	▲ 11.8	23.5	21.1	5.3
製造	▲ 68.2	▲ 38.1	0.0	▲ 34.6	▲ 42.9	▲ 25.9	▲ 33.3
卸売	▲ 57.1	▲ 83.3	▲ 14.3	14.3	0.0	▲ 30.0	▲ 20.0
小売	▲ 53.8	▲ 29.6	▲ 4.0	12.5	▲ 28.0	▲ 11.5	▲ 11.5
サービス	▲ 78.3	▲ 60.0	▲ 28.0	▲ 21.7	▲ 50.0	▲ 42.3	▲ 46.2

ブロック別全産業D I（前年同月比）の推移（東北）



【ブロック別概況・北陸信越】

○全産業の業況DIは、マイナス幅が2カ月ぶりに縮小。産業別にみると、卸売はマイナス幅が拡大したものの、他の4業種は縮小した。
 ○一般工事業からは、「随分前から正社員を募集しているが、当社が希望する人材の応募がなくて、人材・人員不足で困っている」とのコメント。医薬品製造業からは、「ジェネリック医薬品の受注が好調。今年度下期以降も多額の設備投資を予定」との声、金物類製造業からは、「金・銀の価格高騰の影響で、今月からメッキの加工料金が値上げされた。経費が増え、経営が厳しい」とのコメント。旅館からは、「円高と風評被害の影響で、外国人宿泊客が激減」とのコメントが寄せられた。
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月からマイナス幅が拡大する見込み。産業別にみると、卸売、小売はマイナス幅が縮小するものの、他の3業種は拡大する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	11年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 11~1月
業況	▲ 58.8	▲ 54.3	▲ 52.3	▲ 38.7	▲ 44.4	▲ 30.2	▲ 33.0
売上	▲ 51.0	▲ 44.9	▲ 45.4	▲ 26.5	▲ 34.2	▲ 22.4	▲ 28.1
採算	▲ 55.7	▲ 44.2	▲ 46.9	▲ 37.4	▲ 38.5	▲ 29.3	▲ 32.5
資金繰り	▲ 37.4	▲ 37.2	▲ 36.5	▲ 28.6	▲ 30.8	▲ 20.4	▲ 26.2
仕入単価	▲ 33.8	▲ 33.6	▲ 30.2	▲ 30.5	▲ 31.0	▲ 24.6	▲ 21.1
従業員	▲ 11.6	▲ 10.1	▲ 14.7	▲ 9.0	▲ 1.7	1.7	▲ 0.9

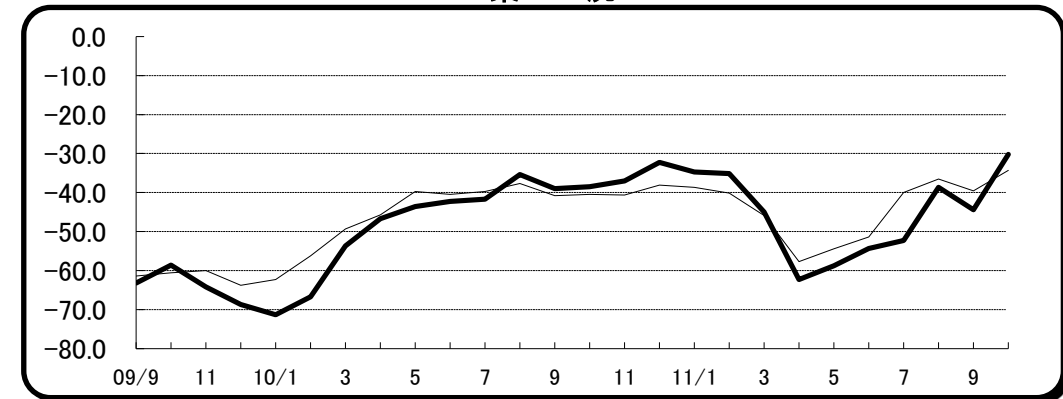
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	11年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 11~1月
建設	▲ 51.9	▲ 50.0	▲ 54.2	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 31.8	▲ 54.5
製造	▲ 37.9	▲ 35.3	▲ 38.7	▲ 32.5	▲ 32.1	▲ 3.6	▲ 10.7
卸売	▲ 69.2	▲ 53.8	▲ 50.0	▲ 28.6	▲ 33.3	▲ 80.0	▲ 50.0
小売	▲ 54.8	▲ 55.9	▲ 50.0	▲ 47.4	▲ 59.3	▲ 31.3	▲ 28.1
サービス	▲ 81.1	▲ 79.3	▲ 67.7	▲ 44.4	▲ 57.7	▲ 37.5	▲ 39.1

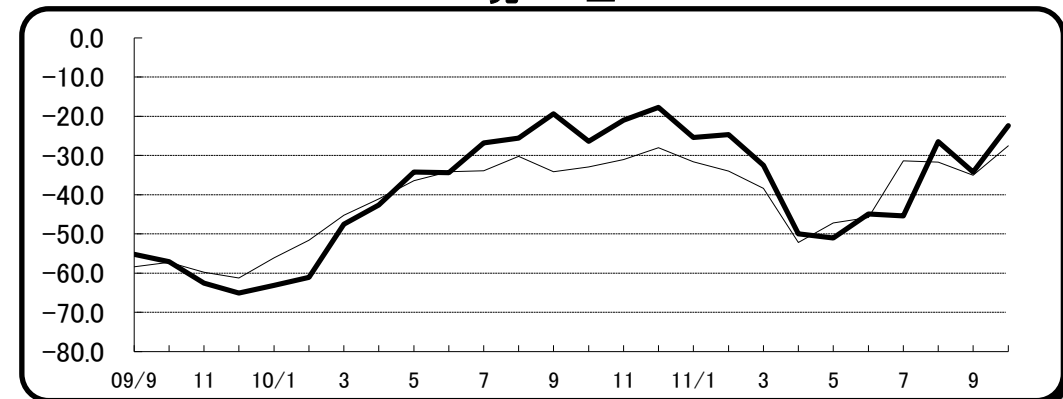
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（北陸信越）

—— 北陸信越 —— 全国

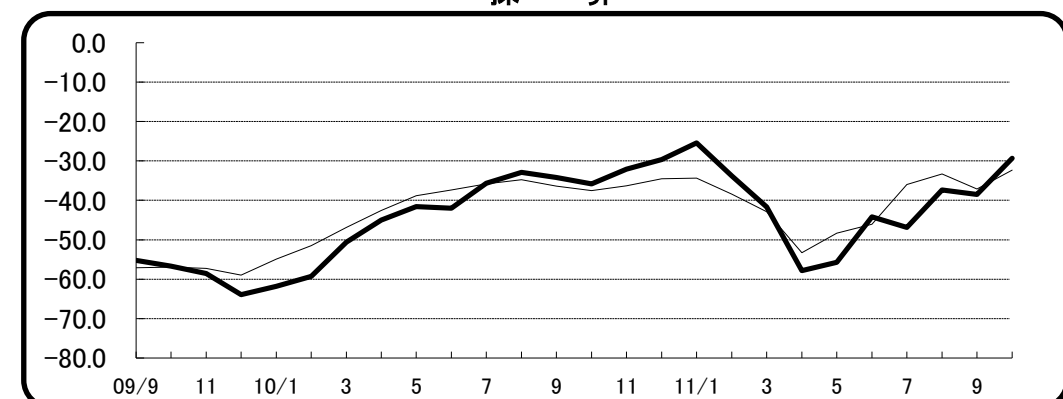
業況



売上



採算



【ブロック別概況・関東】

○全産業の業況DIは、マイナス幅が2カ月ぶりに縮小。産業別にみると、サービスはマイナス幅が拡大したものの、他の4業種は拡大した。
 ○金属製スプリング製造業からは、「タイの洪水により、現地法人および協力会社への支援・対応に追われている」との声、一般産業用機械・装置製造業からは、「風評被害により水産業が低迷。その影響で、製氷・容器等水産関連製品の受注が落ち込んでいる」とのコメント。百貨店からは、「クライマックスシリーズ進出記念セールの上売が好調」とのコメント。クリーニング業からは、「クールビズの影響で、背広等の夏服を洗濯に出す客が激減」とのコメントが寄せられた。
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べマイナス幅が縮小する見込み。産業別にみると、製造、卸売はマイナス幅が拡大するものの、他の3業種は縮小する見込み。

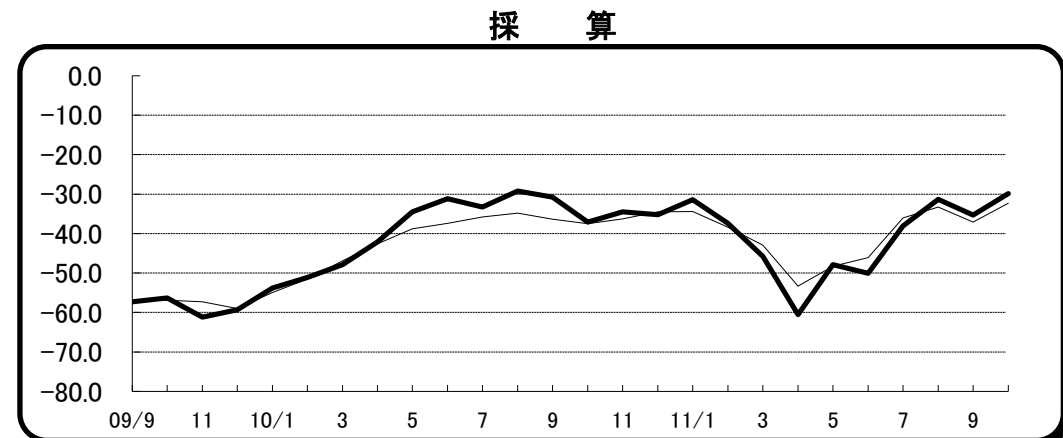
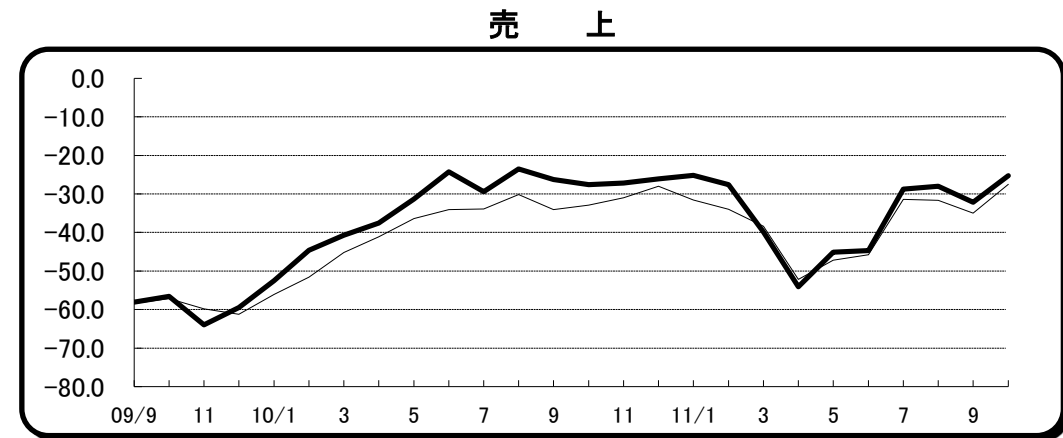
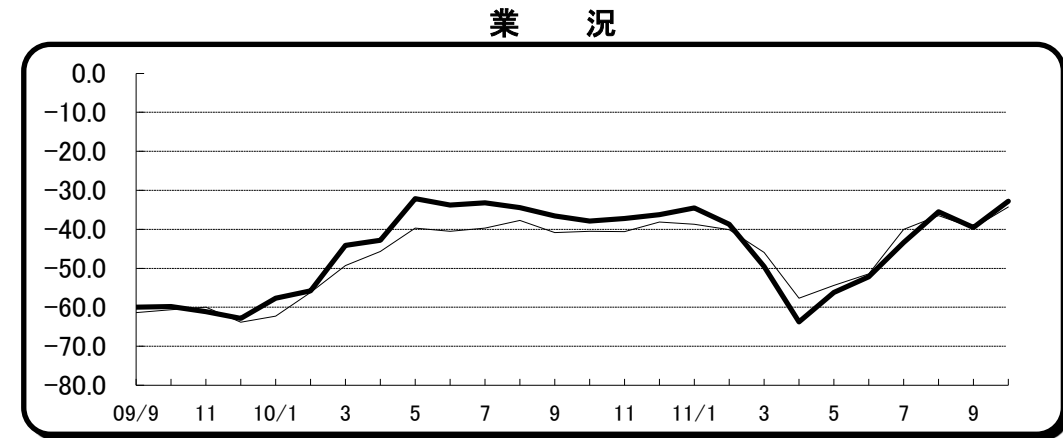
全産業DI（前年同月比）の推移

	11年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 11~1月
業況	▲ 56.2	▲ 52.2	▲ 43.4	▲ 35.5	▲ 39.5	▲ 32.8	▲ 29.7
売上	▲ 45.1	▲ 44.7	▲ 28.8	▲ 28.0	▲ 32.2	▲ 25.3	▲ 17.3
採算	▲ 47.9	▲ 50.1	▲ 38.1	▲ 31.3	▲ 35.3	▲ 29.9	▲ 26.5
資金繰り	▲ 34.6	▲ 32.3	▲ 24.9	▲ 20.0	▲ 19.9	▲ 20.6	▲ 22.1
仕入単価	▲ 39.8	▲ 42.6	▲ 35.8	▲ 32.4	▲ 32.2	▲ 29.6	▲ 27.3
従業員	▲ 12.5	▲ 11.7	▲ 5.8	▲ 3.3	▲ 2.6	▲ 3.2	▲ 3.2

産業別業況DI（前年同月比）の推移

	11年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 11~1月
建設	▲ 56.5	▲ 50.8	▲ 41.7	▲ 50.7	▲ 42.4	▲ 27.0	▲ 25.4
製造	▲ 53.8	▲ 43.6	▲ 37.5	▲ 23.3	▲ 34.3	▲ 23.2	▲ 27.4
卸売	▲ 55.0	▲ 51.4	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 34.5	▲ 21.4	▲ 26.8
小売	▲ 53.7	▲ 51.6	▲ 40.4	▲ 40.2	▲ 45.6	▲ 43.0	▲ 31.2
サービス	▲ 62.4	▲ 64.2	▲ 52.1	▲ 34.8	▲ 40.2	▲ 42.3	▲ 34.6

ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（関東）



【ブロック別概況・東海】

○全産業の業況DIは、前月と比べほぼ横ばいとなった。産業別にみると、建設、サービスはマイナス幅が縮小したものの、他の3業種は拡大した。
 ○工業用プラスチック製造業からは、「輸出専門型の取引先が円高の影響を受けており当社に価格引き下げの要望が厳しい」との声、陶磁器製造業からは、「工業品、ファインセラミックス分野は回復基調が見えるが、食器等の分野では継続的な受注が見込めず、全体としては依然として厳しい状況」とのコメント。百貨店からは、「原発事故の放射能汚染、台風の水害等の影響により青果物が高く、売上不振に繋がっている」とのコメント。自動車整備業からは、「若者の車への関心の低下は、自動車の販売、整備業にとって大きな問題となっている」とのコメントが寄せられた。
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べマイナス幅が縮小する見込み。産業別にみると、建設はマイナス幅が拡大、製造、小売は横ばいとなるものの、他の2業種は縮小する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	11年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 11~1月
業況	▲ 50.3	▲ 44.4	▲ 32.4	▲ 24.1	▲ 28.2	▲ 28.3	▲ 21.3
売上	▲ 46.3	▲ 34.4	▲ 17.2	▲ 27.0	▲ 29.0	▲ 19.7	▲ 14.2
採算	▲ 47.6	▲ 44.2	▲ 30.3	▲ 24.1	▲ 27.7	▲ 27.6	▲ 22.2
資金繰り	▲ 19.4	▲ 22.1	▲ 14.3	▲ 13.1	▲ 19.0	▲ 16.8	▲ 15.2
仕入単価	▲ 32.9	▲ 30.3	▲ 26.6	▲ 26.6	▲ 28.7	▲ 19.2	▲ 20.0
従業員	▲ 6.8	▲ 5.2	1.4	4.3	1.5	1.6	▲ 1.6

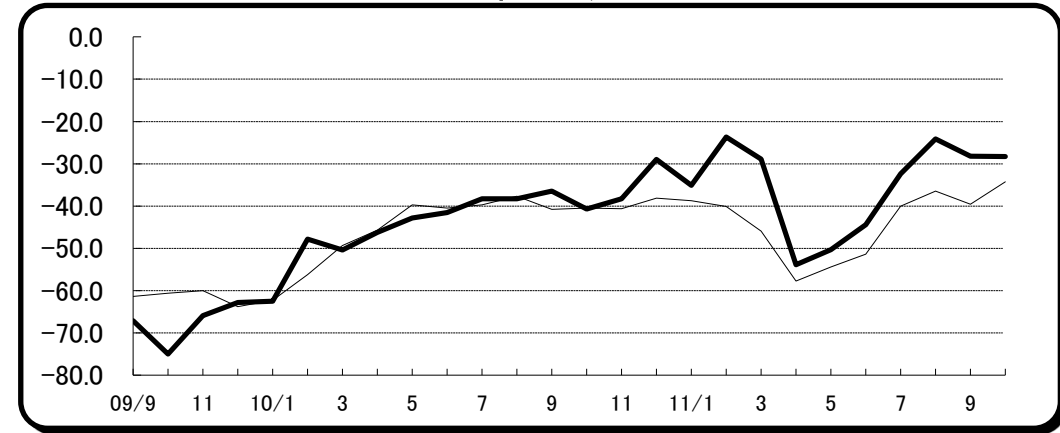
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	11年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 11~1月
建設	▲ 50.0	▲ 52.6	▲ 33.3	▲ 38.1	▲ 23.5	▲ 16.7	▲ 22.2
製造	▲ 43.9	▲ 31.8	▲ 7.9	▲ 7.9	▲ 18.9	▲ 21.9	▲ 21.9
卸売	▲ 83.3	▲ 68.4	▲ 58.8	▲ 50.0	▲ 46.7	▲ 60.0	▲ 40.0
小売	▲ 52.9	▲ 40.5	▲ 31.4	▲ 21.9	▲ 15.6	▲ 30.0	▲ 30.0
サービス	▲ 38.2	▲ 47.1	▲ 45.9	▲ 23.5	▲ 46.7	▲ 25.0	▲ 3.1

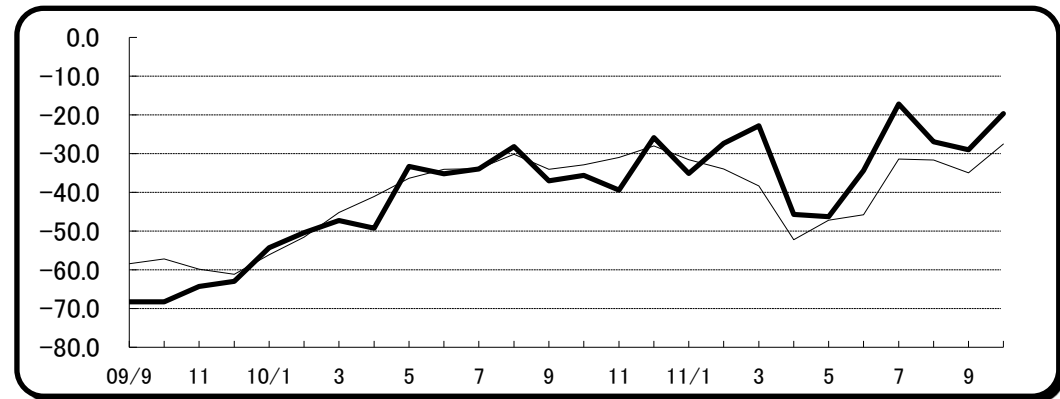
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（東海）

—— 東海 —— 全国

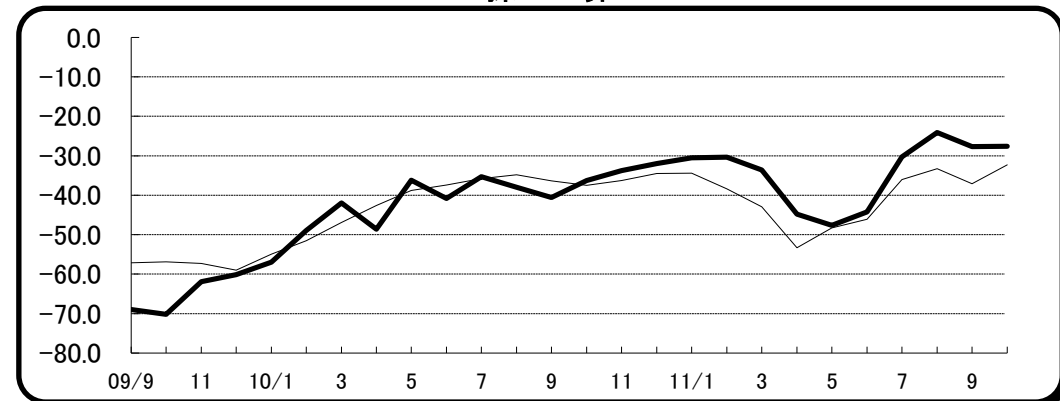
業況



売上



採算



【ブロック別概況・近畿】

○全産業の業況DIは、前月と比べほぼ横ばいとなった。産業別にみると、小売、サービスはマイナス幅が縮小したもの、他の3業種は拡大した。
 ○一般産業用機械・装置製造業からは、「原発に代わる火力発電所の整備工事の推進被災した船舶の補修工事が発生しており、一時的にアルバイトの工員を増やしている」との声、ボルト・ナット等製造業からは、「公共交通機関・公的駐車場等がないため、臨海地区での求人に対する応募が少なく、操業に支障が出ている」とのコメント。総合スーパーからは、「気温が下がり、冬の食材中心に食品の伸びが好調」とのコメント。旅館からは、「今月はグループでの日帰りバス旅行が多かったが宿泊客は例年並み。11月には団体での予約がいくつか入っているが予約状況はほぼ横ばい」とのコメントが寄せられた。
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べマイナス幅が縮小する見込み。産業別にみると、製造、サービスはマイナス幅が拡大、卸売は横ばいとなるものの、他の2業種は縮小する見込み。

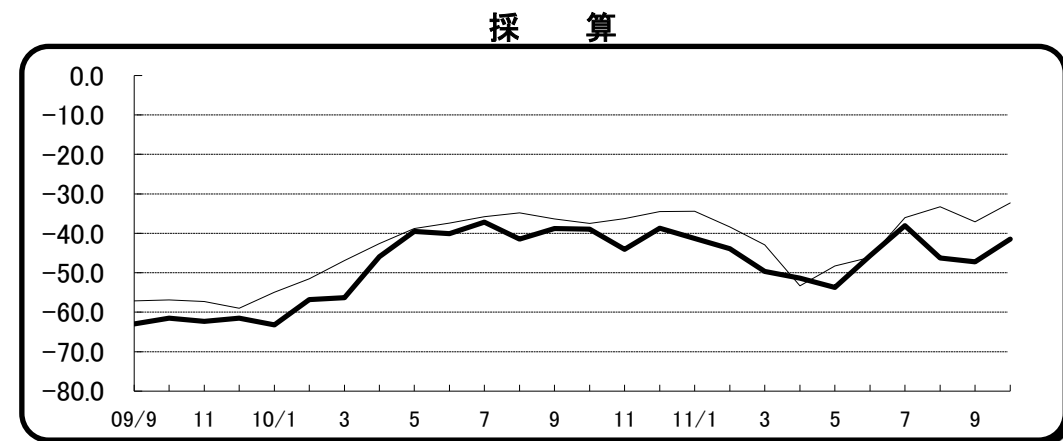
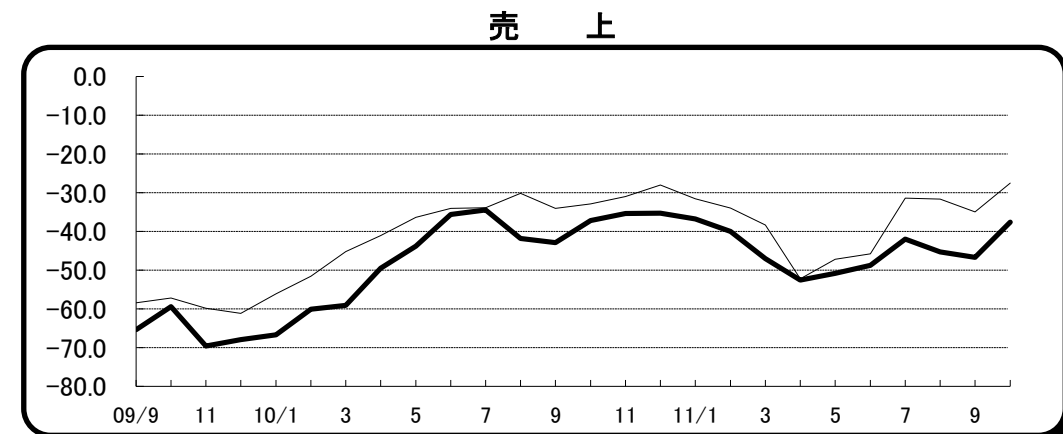
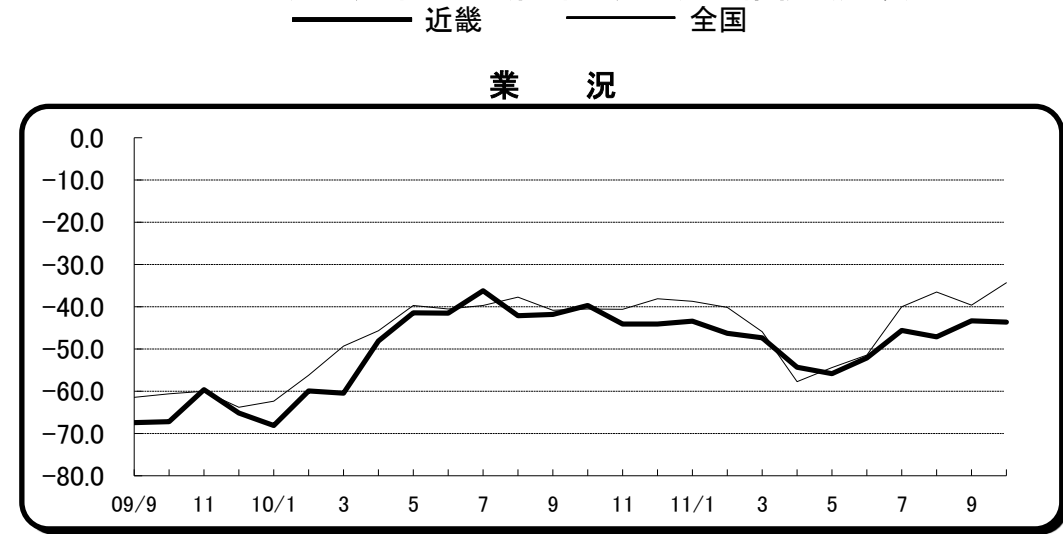
全産業DI（前年同月比）の推移

	11年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 11~1月
業況	▲ 55.8	▲ 52.1	▲ 45.6	▲ 47.1	▲ 43.3	▲ 43.6	▲ 37.2
売上	▲ 50.8	▲ 48.8	▲ 42.0	▲ 45.3	▲ 46.7	▲ 37.6	▲ 29.7
採算	▲ 53.7	▲ 45.7	▲ 38.1	▲ 46.3	▲ 47.2	▲ 41.5	▲ 29.8
資金繰り	▲ 33.7	▲ 28.8	▲ 27.2	▲ 35.0	▲ 27.1	▲ 25.5	▲ 21.2
仕入単価	▲ 37.0	▲ 35.0	▲ 40.7	▲ 25.7	▲ 29.6	▲ 28.1	▲ 22.2
従業員	▲ 8.9	▲ 7.3	▲ 7.1	▲ 6.9	▲ 3.7	▲ 2.3	▲ 0.6

産業別業況DI（前年同月比）の推移

	11年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 11~1月
建設	▲ 62.5	▲ 55.0	▲ 54.5	▲ 63.6	▲ 44.4	▲ 50.0	▲ 45.0
製造	▲ 47.9	▲ 47.8	▲ 50.0	▲ 32.0	▲ 34.9	▲ 39.1	▲ 41.3
卸売	▲ 60.0	▲ 50.0	▲ 31.3	▲ 31.3	▲ 18.8	▲ 35.3	▲ 35.3
小売	▲ 62.7	▲ 53.2	▲ 44.9	▲ 54.4	▲ 56.9	▲ 49.0	▲ 24.5
サービス	▲ 50.0	▲ 55.3	▲ 42.1	▲ 52.3	▲ 44.4	▲ 42.5	▲ 45.0

ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（近畿）



【ブロック別概況・中国】

○全産業の業況DIは、マイナス幅が2カ月ぶりに拡大。産業別にみると、建設、製造はマイナス幅が縮小したもの、他の3業種は拡大した。
 ○一般建築工事業からは、「市内のマンションや医療施設建設の山場を迎えており、型枠大工等の人員確保が難しい」との声、船舶製造・修理業からは、「円高の影響で、中国・韓国との受注競争に勝てない。受注できても赤字を覚悟しなければならない」とのコメント。衣料品店からは、「作業服など、綿製品の価格が上昇し、採算が悪化」とのコメント。不動産賃貸業からは、「原発事故の影響により福島を始め、関東地方からの転居を希望するお客が見られる」とのコメントが寄せられた。
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べマイナス幅が縮小する見込み。産業別にみると、建設はマイナス幅が拡大するものの、他の4業種は縮小する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

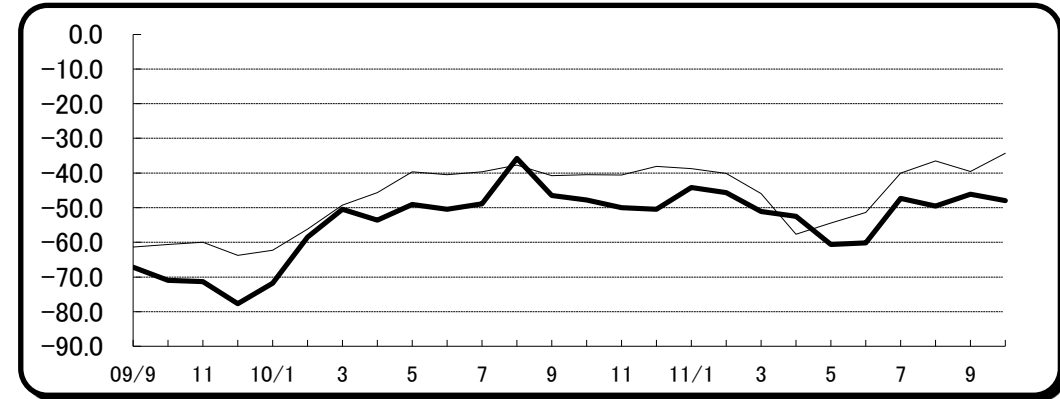
	11年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 11~1月
業況	▲ 60.6	▲ 60.2	▲ 47.3	▲ 49.5	▲ 46.1	▲ 48.0	▲ 38.4
売上	▲ 59.6	▲ 58.0	▲ 52.7	▲ 46.5	▲ 40.2	▲ 48.5	▲ 38.0
採算	▲ 50.5	▲ 43.2	▲ 41.9	▲ 30.7	▲ 36.3	▲ 41.6	▲ 32.0
資金繰り	▲ 37.4	▲ 36.0	▲ 38.0	▲ 33.7	▲ 30.7	▲ 31.6	▲ 24.5
仕入単価	▲ 26.3	▲ 23.0	▲ 26.4	▲ 21.0	▲ 14.9	▲ 22.2	▲ 18.2
従業員	▲ 23.2	▲ 26.1	▲ 15.1	▲ 23.0	▲ 13.7	▲ 17.0	▲ 13.1

産業別業況DI（前年同月比）の推移

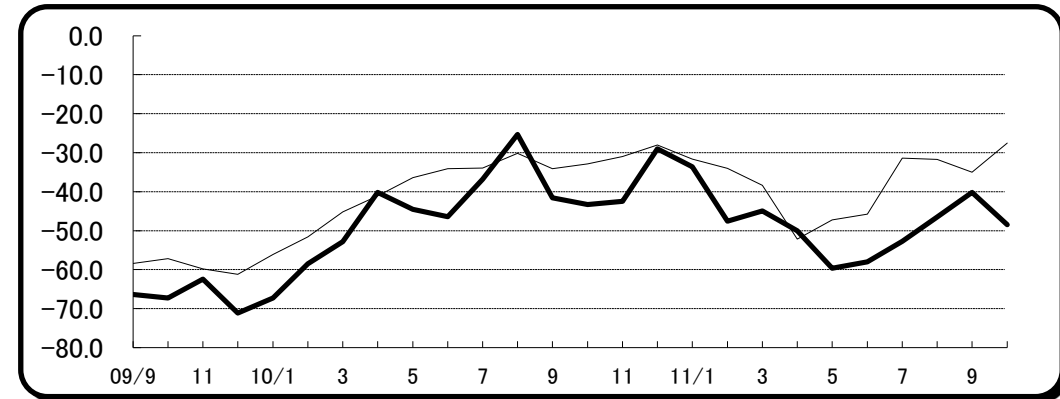
	11年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 11~1月
建設	▲ 58.3	▲ 60.0	▲ 66.7	▲ 61.5	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 41.7
製造	▲ 51.6	▲ 48.1	▲ 34.5	▲ 35.3	▲ 28.1	▲ 26.7	▲ 23.3
卸売	▲ 61.5	▲ 75.0	▲ 58.3	▲ 53.8	▲ 54.5	▲ 58.3	▲ 53.8
小売	▲ 76.9	▲ 56.0	▲ 46.4	▲ 56.0	▲ 59.3	▲ 66.7	▲ 51.7
サービス	▲ 52.9	▲ 78.6	▲ 53.3	▲ 56.3	▲ 50.0	▲ 56.3	▲ 26.7

ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（中国）
 中国 全国

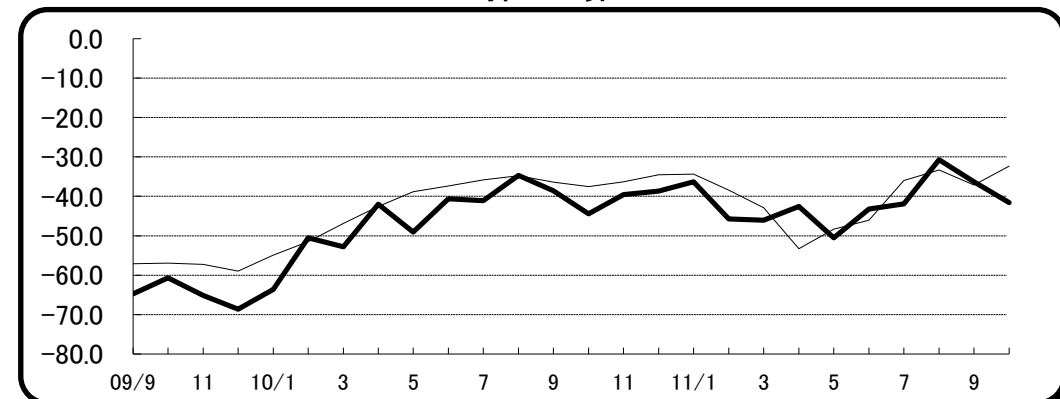
業況



売上



採算

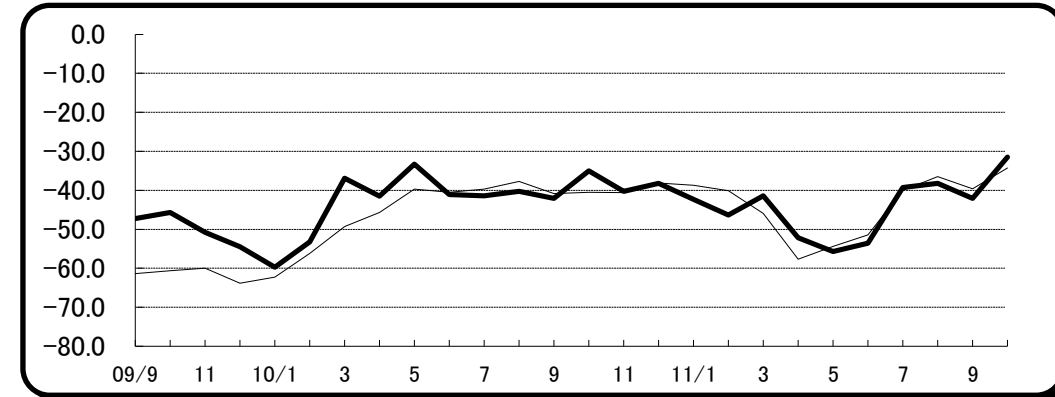


【ブロック別概況・四国】

○全産業の業況DIは、マイナス幅が2カ月ぶりに縮小。産業別にみると、サービスは横ばいとなったものの、他の4業種は縮小した。
 ○板金・金物工事業からは、「業界全体ではないが一部には景気の上昇がみられる」とのコメント。織物製造業は、「若手を雇用したいが、時間をかけて育成するには負担とリスクが大きく踏み切れない」との声、建設・建築用金属製品製造業からは、「円高や韓国のウォン安で不安定な状態が続いている」とのコメント。飲食店からは、「食材に対する原発事故の風評被害の影響が長期化することを心配している」とのコメントが寄せられた。
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べマイナス幅が縮小する見込み。産業別にみると、小売はマイナス幅が拡大するものの、他の4業種は縮小する見込み。

ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（四国）
 四国 全国

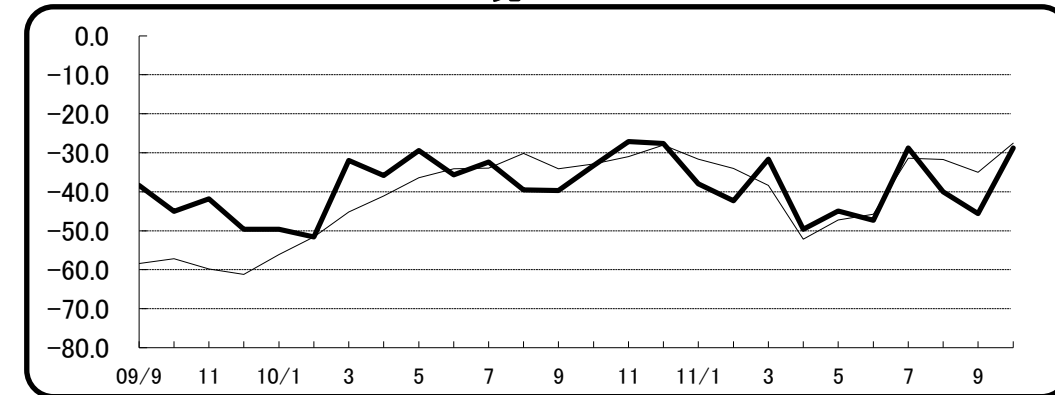
業況



全産業DI（前年同月比）の推移

	11年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 11~1月
業況	▲ 55.7	▲ 53.6	▲ 39.3	▲ 38.2	▲ 42.1	▲ 31.5	▲ 27.9
売上	▲ 44.9	▲ 47.3	▲ 28.8	▲ 40.0	▲ 45.6	▲ 28.8	▲ 17.1
採算	▲ 48.6	▲ 47.3	▲ 39.0	▲ 36.4	▲ 45.6	▲ 31.5	▲ 26.1
資金繰り	▲ 21.5	▲ 30.9	▲ 23.1	▲ 22.7	▲ 22.8	▲ 15.3	▲ 18.9
仕入単価	▲ 42.1	▲ 37.3	▲ 33.1	▲ 29.1	▲ 33.3	▲ 29.7	▲ 25.2
従業員	▲ 11.2	▲ 8.2	▲ 3.4	▲ 9.1	▲ 9.6	▲ 7.2	▲ 8.1

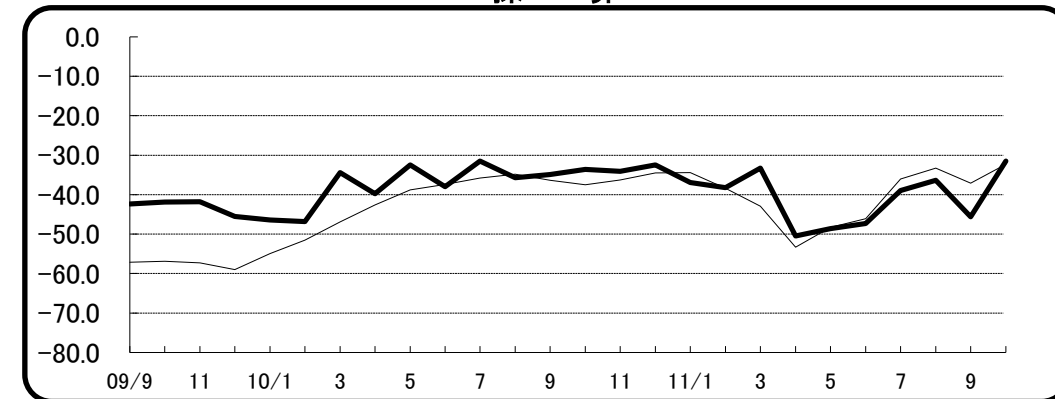
売上



産業別業況DI（前年同月比）の推移

	11年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 11~1月
建設	▲ 75.0	▲ 73.7	▲ 50.0	▲ 65.0	▲ 65.0	▲ 55.0	▲ 50.0
製造	▲ 33.3	▲ 18.5	▲ 24.1	▲ 18.5	▲ 30.0	▲ 17.2	▲ 13.8
卸売	▲ 75.0	▲ 70.0	▲ 70.0	▲ 55.6	▲ 70.0	▲ 50.0	▲ 37.5
小売	▲ 60.7	▲ 59.3	▲ 20.0	▲ 38.5	▲ 39.3	▲ 25.0	▲ 28.6
サービス	▲ 55.6	▲ 63.0	▲ 56.7	▲ 32.1	▲ 30.8	▲ 30.8	▲ 23.1

採算



【ブロック別概況・九州】

○全産業の業況DIは、マイナス幅が3カ月ぶりに縮小。産業別にみると、建設、卸売、サービスはマイナス幅が拡大したものの、他の2業種は縮小した。
 ○一般建築建築工事業からは、「県市町村の公共事業が大きく減少しており、先行き不安」とのコメント。板金加工業からは、「円高の影響で、取引先から30%の値下げ要求をされた」とのコメント。食料品卸売業からは、「口蹄疫に続き、震災の影響で地域として根深い冷え込みがあり、小売店の売上が伸びない」とのコメント。旅館からは、「売上拡大が厳しいため、経費削減が求められている。正社員の時短や削減を図り、不足を非正規社員の採用で対応せざるを得ない」とのコメントが寄せられた。
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月からマイナス幅が縮小する見込み。産業別にみると、建設、小売はマイナス幅が拡大するものの、他の3業種は縮小する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

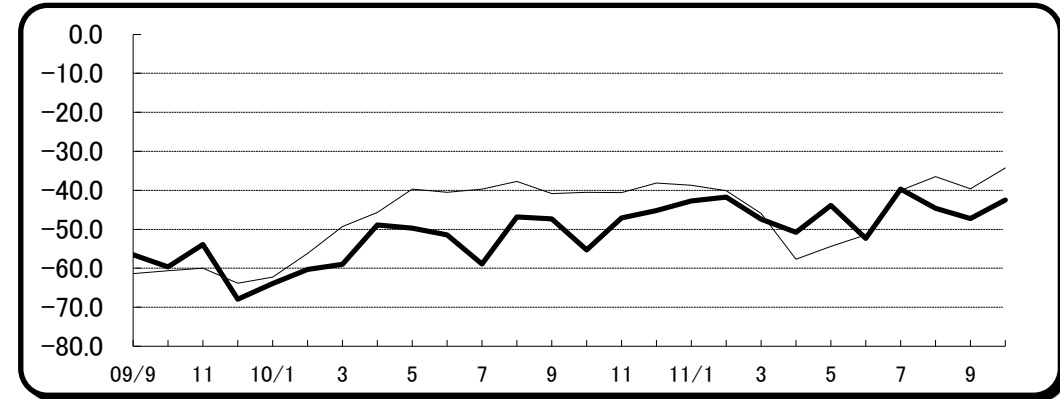
	11年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 11~1月
業況	▲ 43.9	▲ 52.3	▲ 39.7	▲ 44.6	▲ 47.2	▲ 42.5	▲ 38.6
売上	▲ 32.4	▲ 50.5	▲ 31.3	▲ 35.1	▲ 35.8	▲ 32.4	▲ 27.4
採算	▲ 29.5	▲ 44.1	▲ 32.8	▲ 39.7	▲ 35.2	▲ 41.9	▲ 37.8
資金繰り	▲ 27.9	▲ 33.3	▲ 33.1	▲ 30.8	▲ 37.8	▲ 28.9	▲ 26.7
仕入単価	▲ 36.0	▲ 29.4	▲ 31.5	▲ 28.1	▲ 33.6	▲ 37.3	▲ 36.1
従業員	▲ 11.6	▲ 16.2	▲ 13.1	▲ 11.5	▲ 8.1	▲ 11.0	▲ 8.9

産業別業況DI（前年同月比）の推移

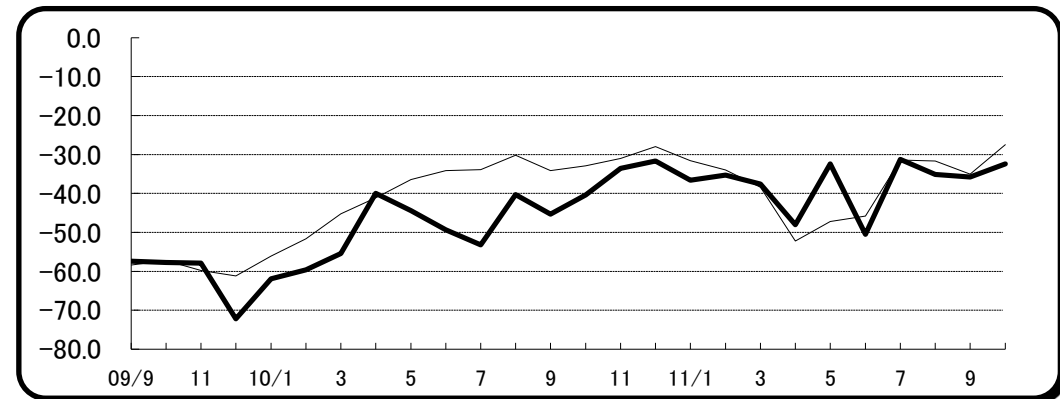
	11年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 11~1月
建設	▲ 68.2	▲ 60.0	▲ 68.2	▲ 65.2	▲ 45.0	▲ 54.2	▲ 60.9
製造	▲ 39.4	▲ 46.2	▲ 46.9	▲ 42.4	▲ 43.3	▲ 39.3	▲ 32.1
卸売	▲ 18.2	▲ 50.0	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 30.8	▲ 38.5	▲ 23.1
小売	▲ 40.5	▲ 57.1	▲ 33.3	▲ 42.9	▲ 57.6	▲ 32.4	▲ 37.8
サービス	▲ 44.4	▲ 48.1	▲ 20.0	▲ 35.7	▲ 48.1	▲ 50.0	▲ 35.5

ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（九州）

業況



売上



採算

